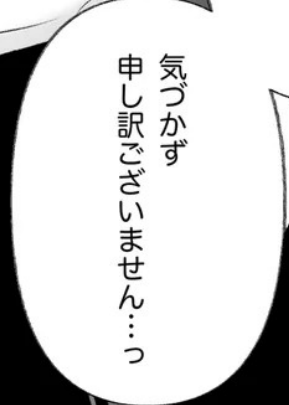
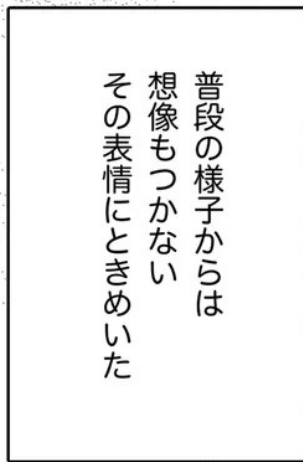
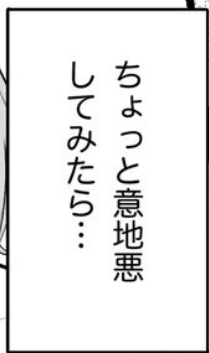
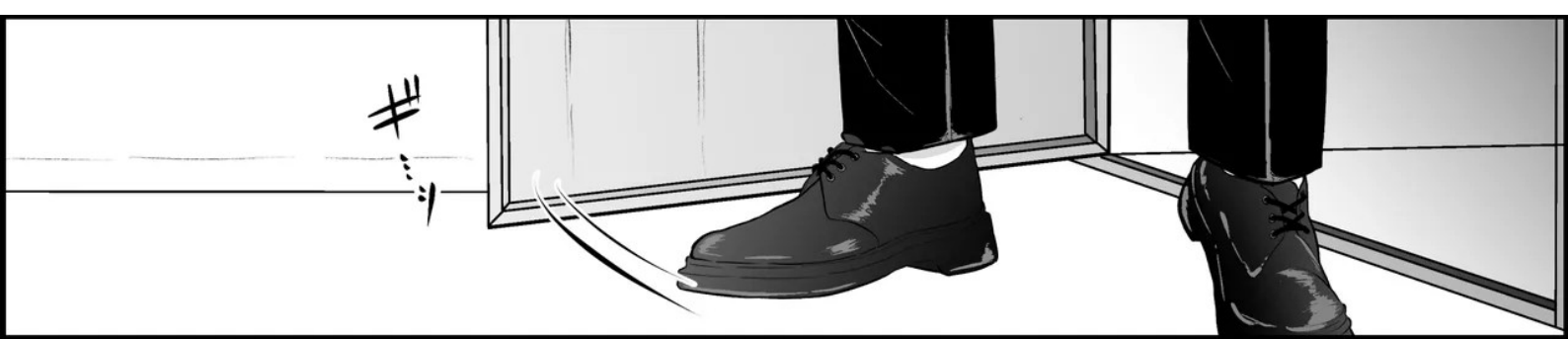


真面目な

あなたを

堕
とし
たい







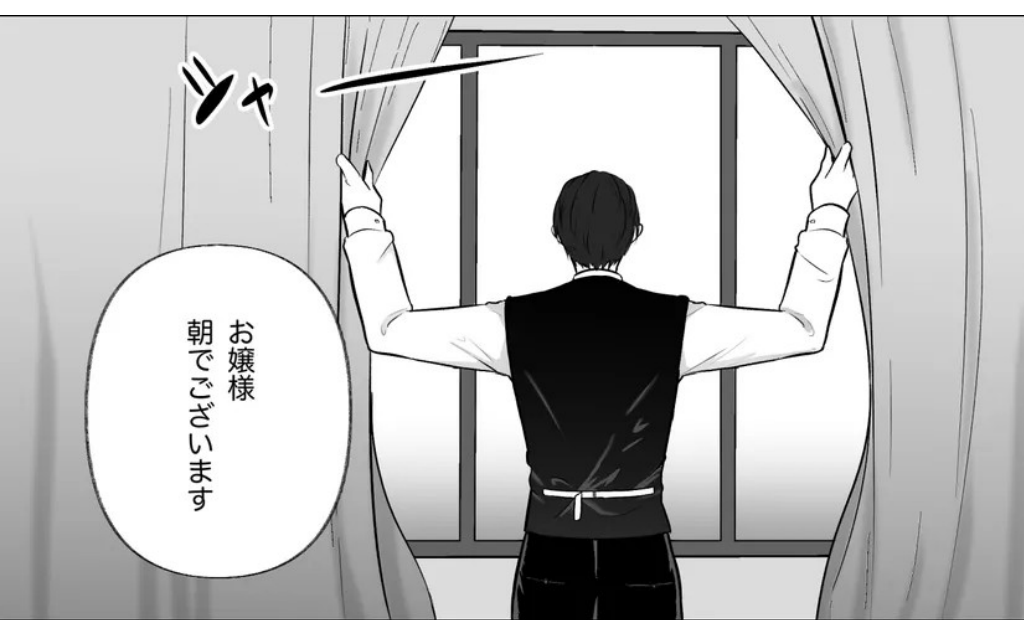
そのような冗談は
よろしくありません…

さらに顔が
赤くなって

たまらなく可愛かった



私、この人が欲しいかも



お嬢様
朝でございます



本当にお嬢様は
朝が弱くて
いらっしゃる

さあ
起きてください



ん…

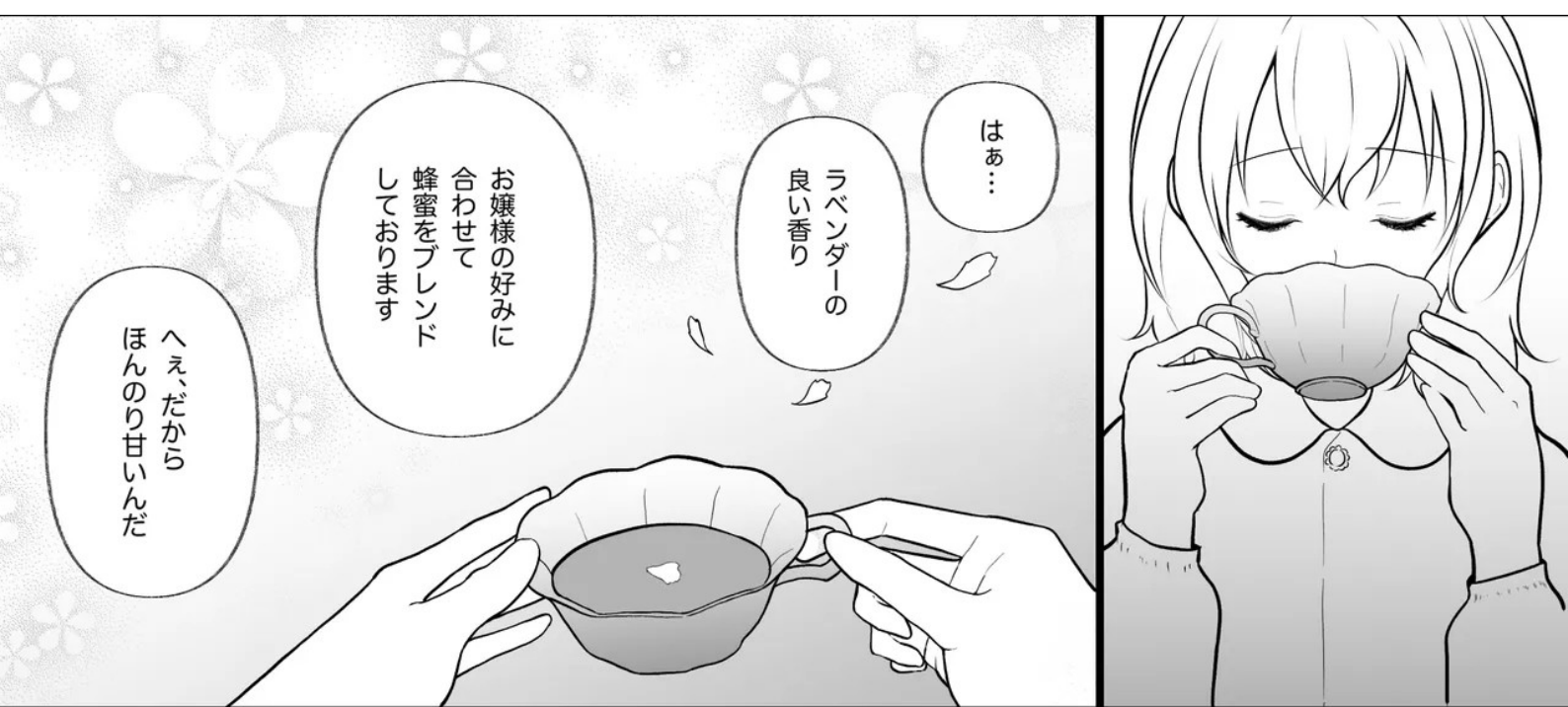


冷めないうちに
どうぞ



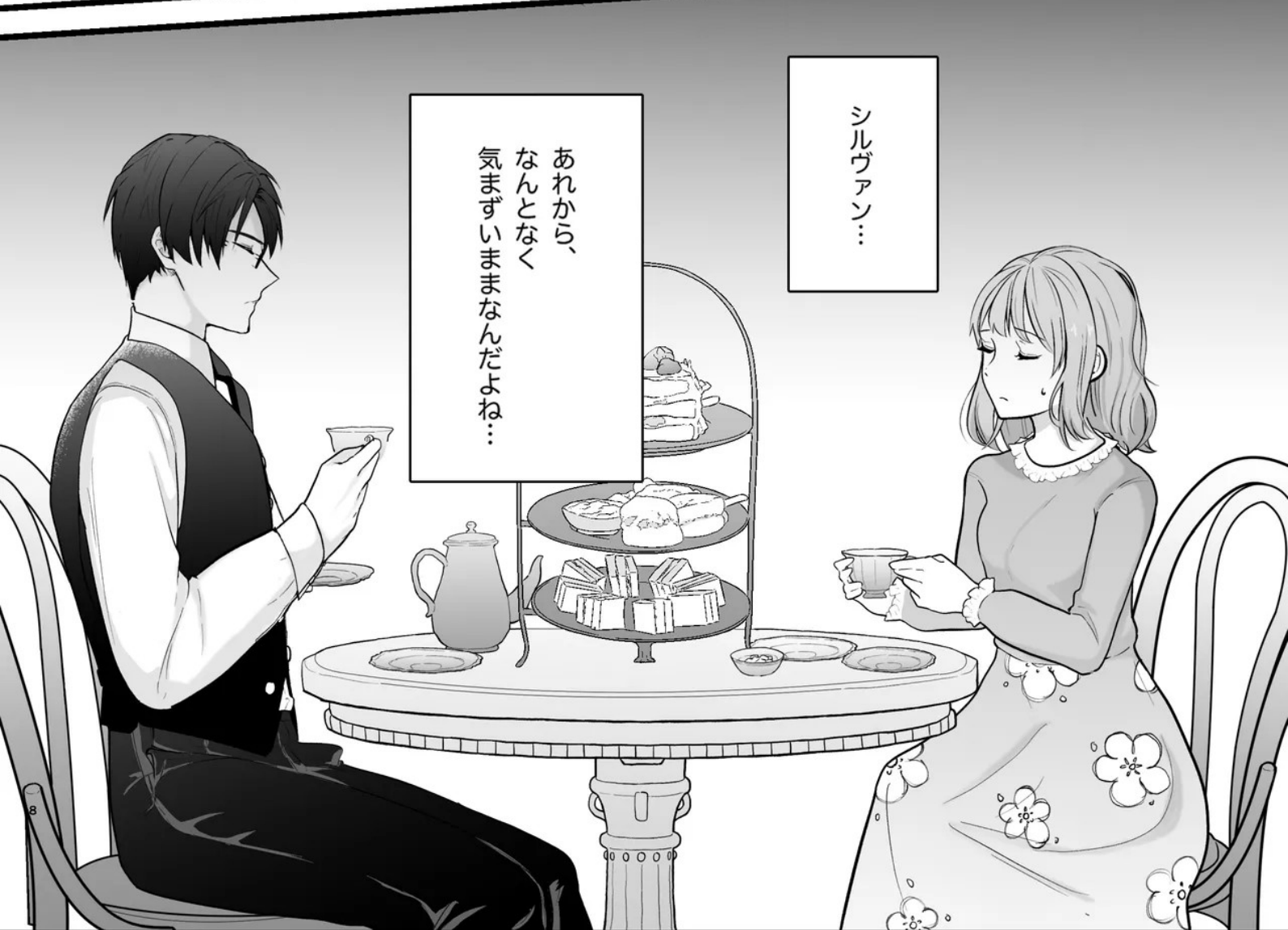
本日のベッドティーは
ラベンダーグレイで
ございます

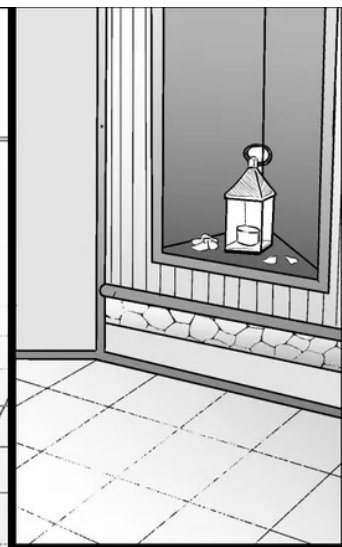
体が温まりますよ



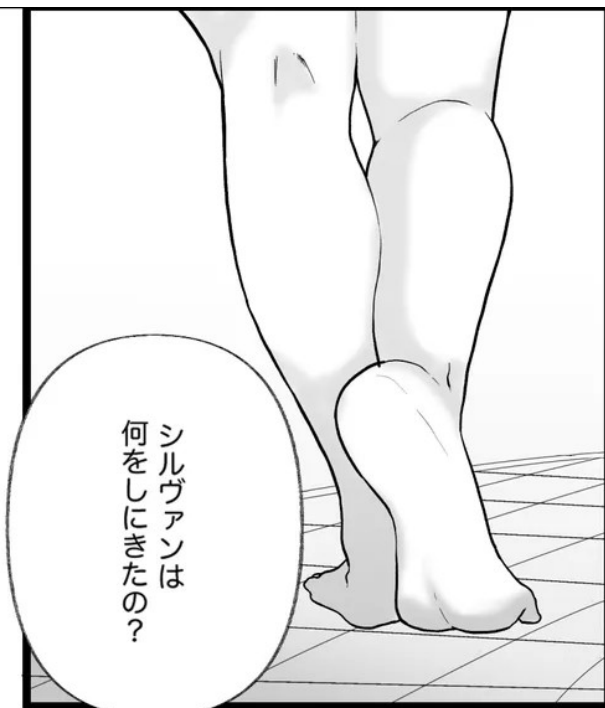








それで…



シルヴァンは
何をしにきたの？

お嬢様が
お風呂に入る前に

キャンドル
を焚いておこうかと
思いました…

ここ最近、
お疲れのようでしたから

ね

ふふ…
じゃあ、ついでに
一緒に入ろうよ

いつも、そうよね
必要以上のことをしてくれる

その優しさは
執事としての責務？

それとも…



私のこと
好きになっちゃった…？

…っ

素直になったら

いっぱい甘えさせて
あげるよ？

ゾク…

ぎゅっ

おやめください！

そんな訳
あるはずない…

グイッ

執事ですから
…私は



お嬢様？



…今まで願えば
なんでも手に入れられた



お嬢様を
喜ばせたくて…

それは…

シルヴァン、
今日はどうして
誘ってくれたの



おじよ…？



どうなさいましたか



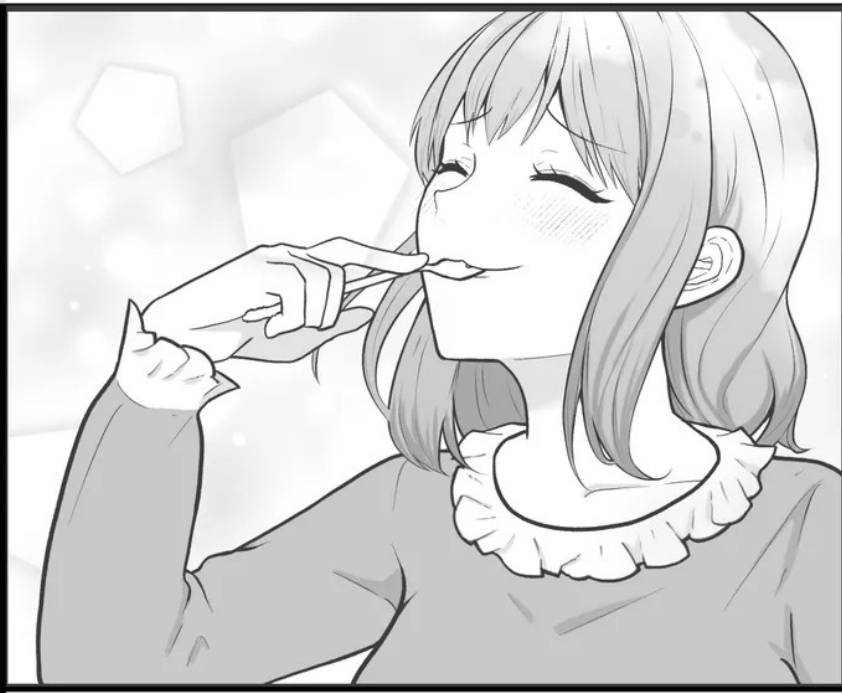
…っ



私に対して特別な感情を
持っているんじゃないの



執事の役目は
主人に尽くすことであって
喜ばせることではないはず



私は…



いえ…

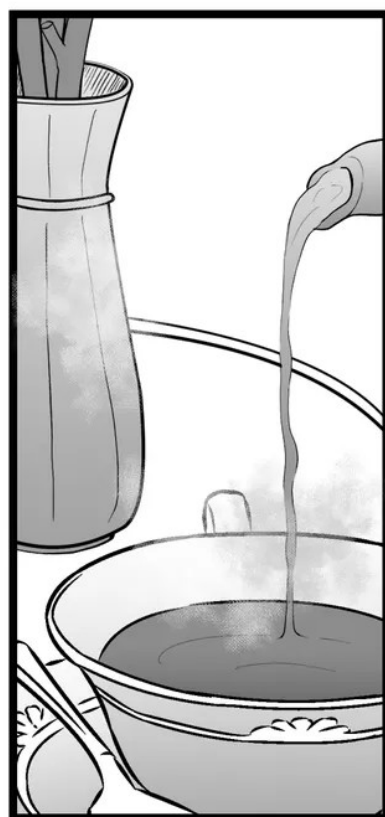
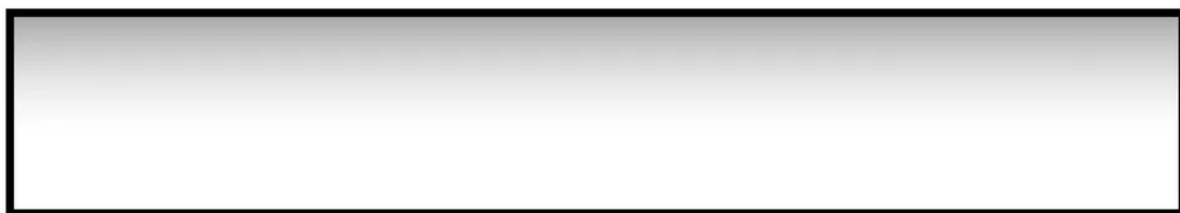
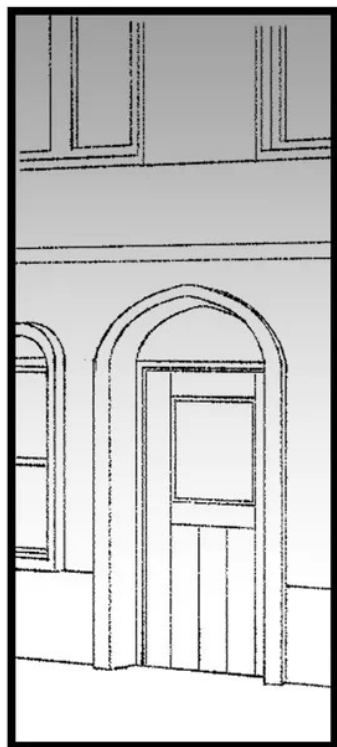
出過ぎた真似を
してしまったのなら
すみません

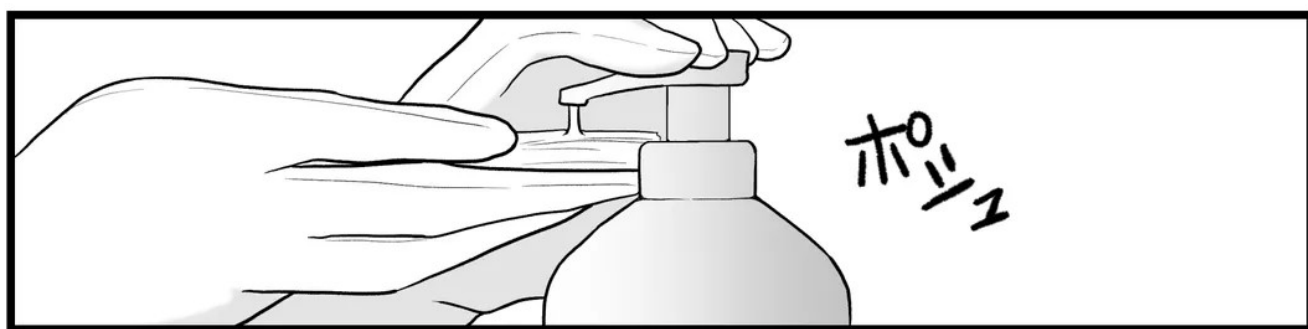
フ



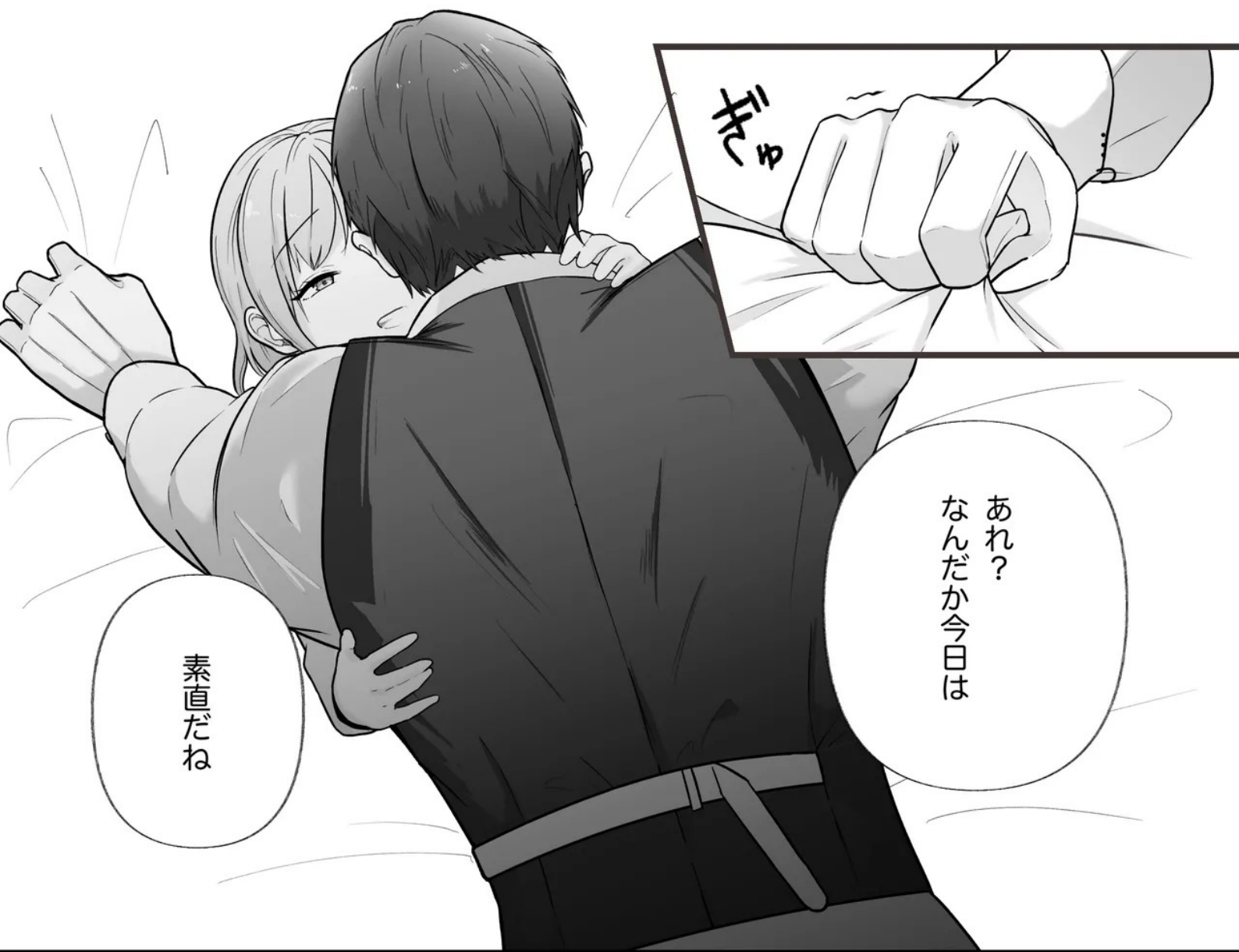
…

帰りまじょう









心臓の音と…

ドゥ

ドゥ

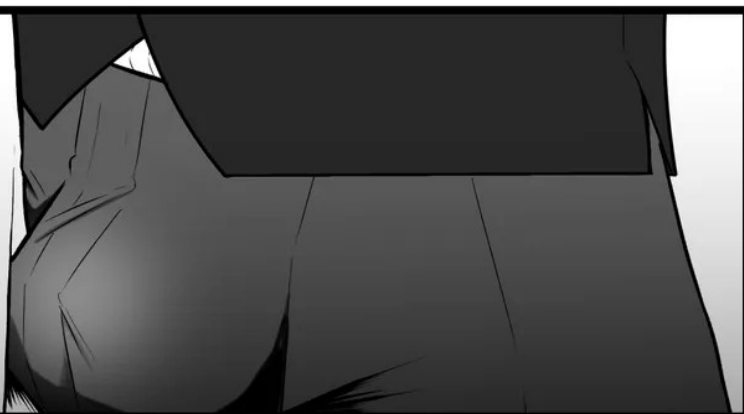


お嬢様の
コロンの香り



ああ
なんてこと

グッ



ふふっ

なんか…
ドキドキするね



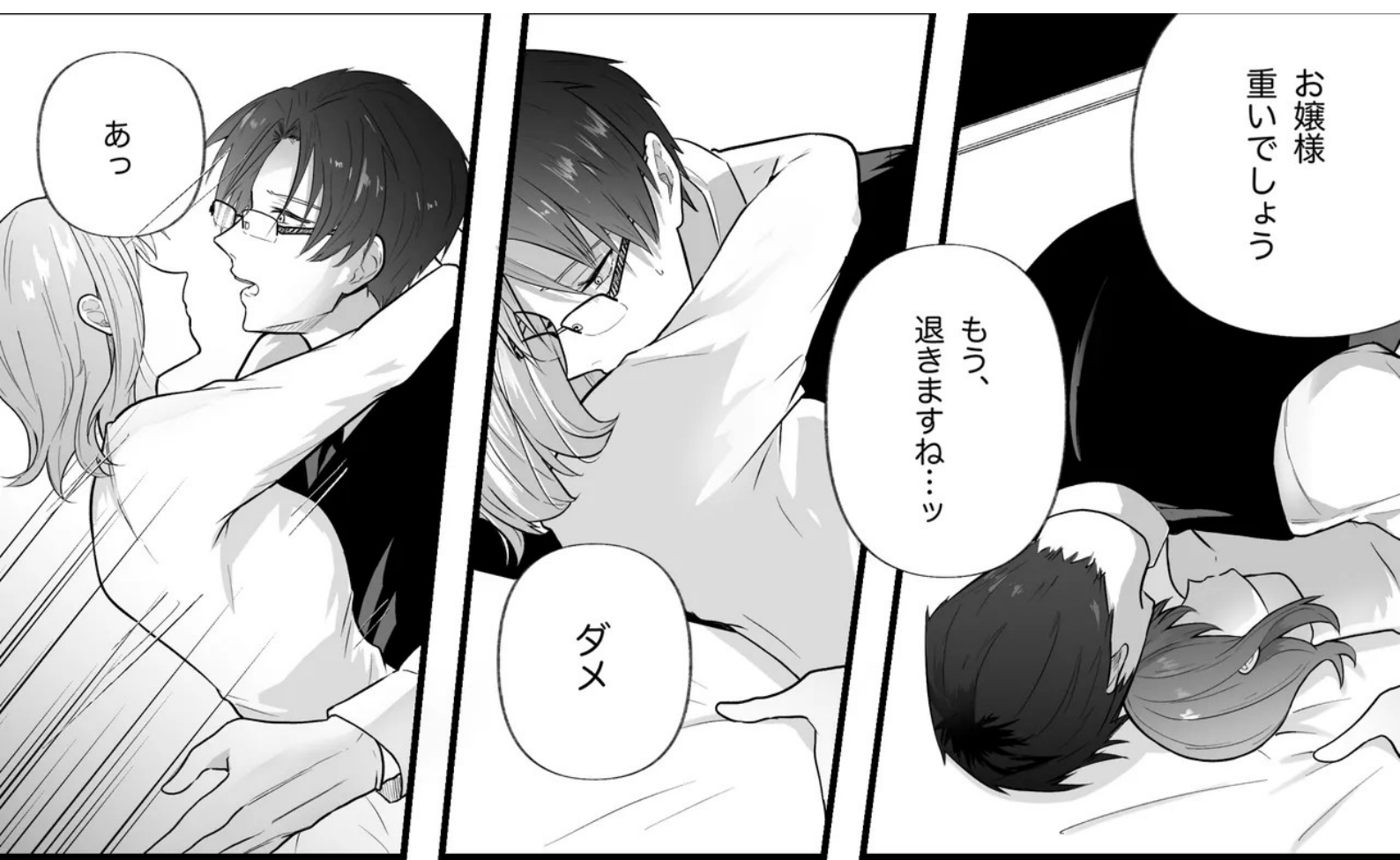
今日は少し
冷たくしてしまったから

なんて…
そんなの
言い訳にすらならない

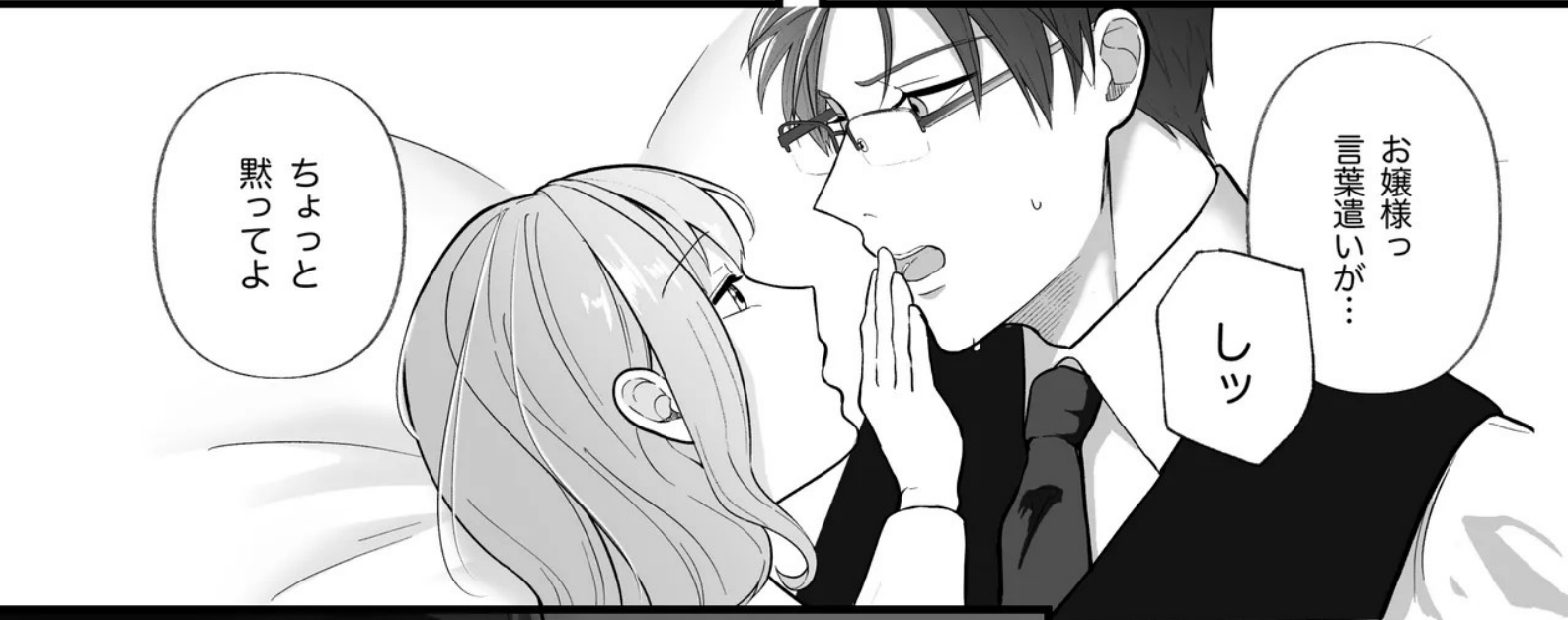
グッ

グッ











!?

あ、

おじよ…ッ

フ、

ちゅ

フ、

ブル

ブル

フ、

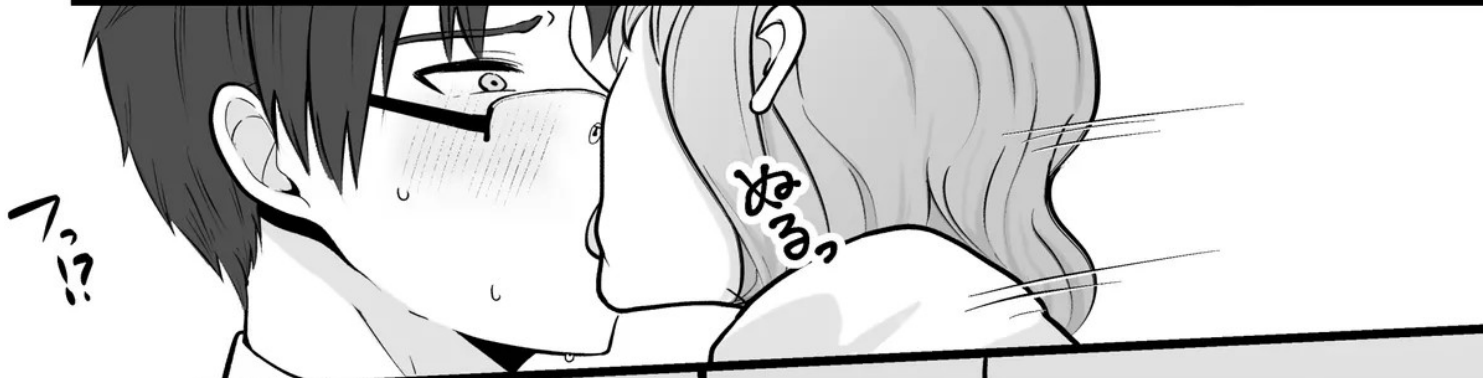
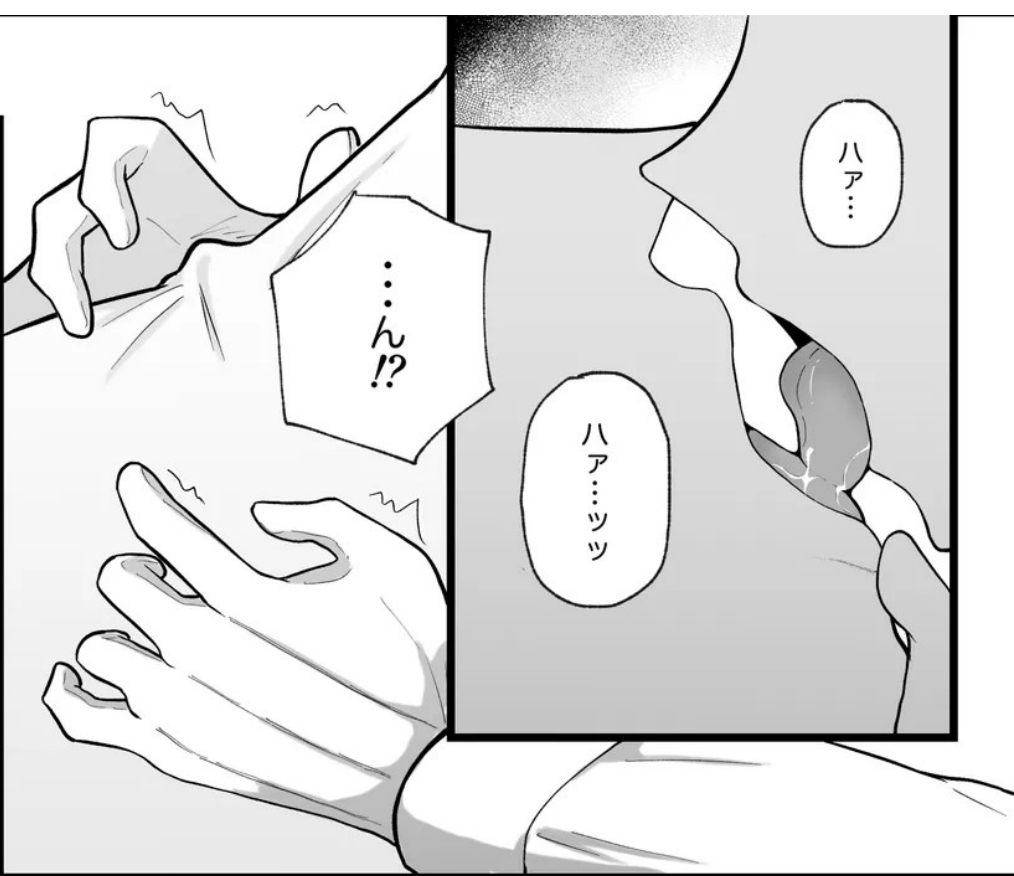
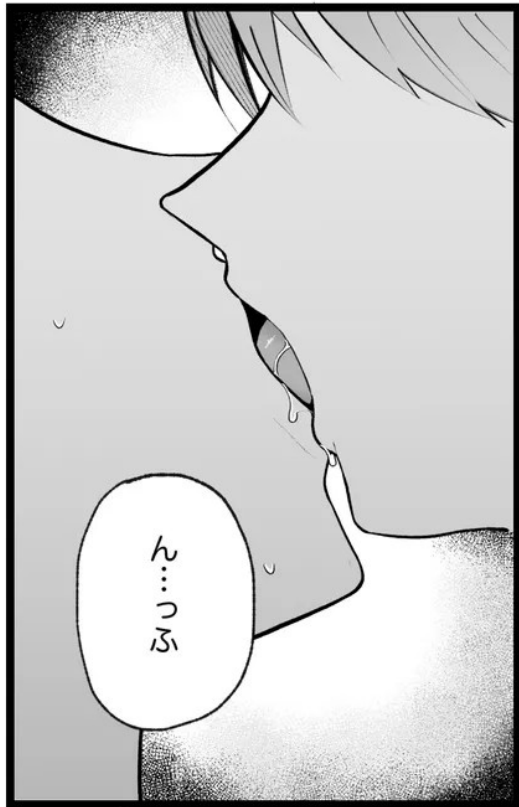
フ、

ん…

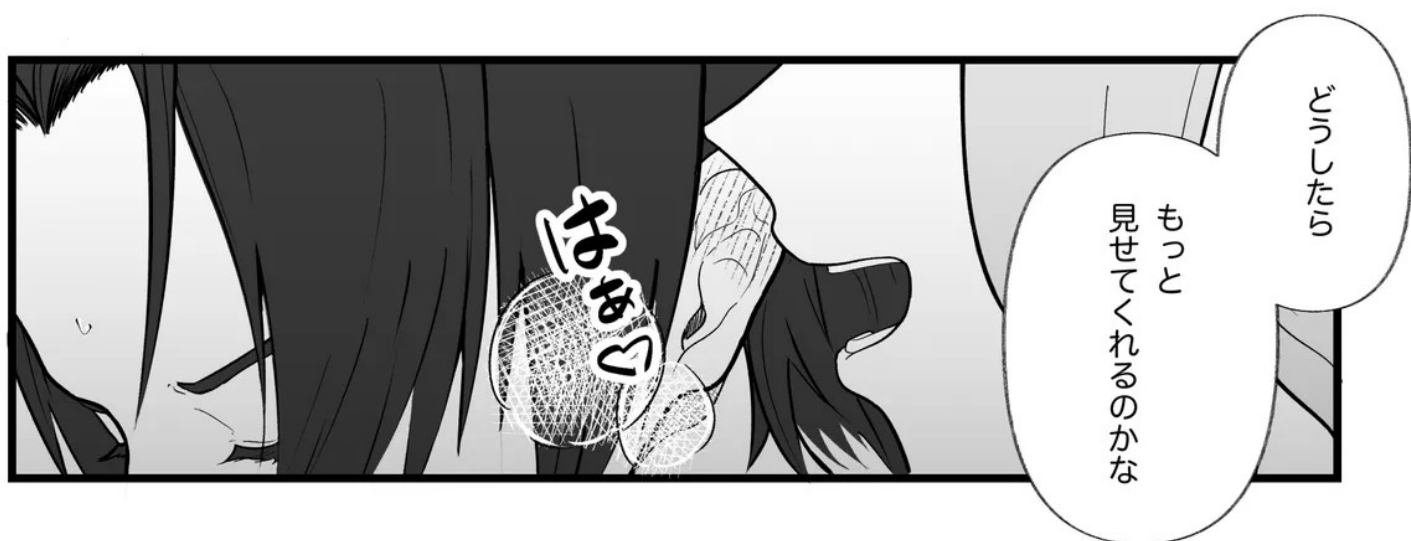
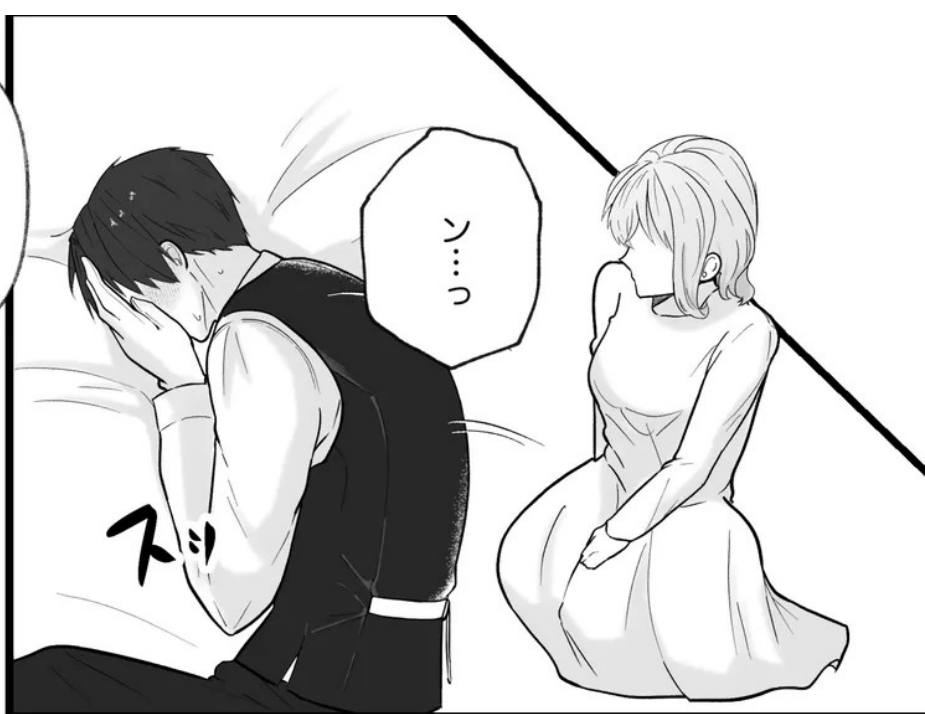
ちゅ

ちゅ

ん、









お嬢様は既に
成人しておりますゆえ

お一人で
ご就寝ください



先程は
お見苦しいところを
お見せして
すみませんでした

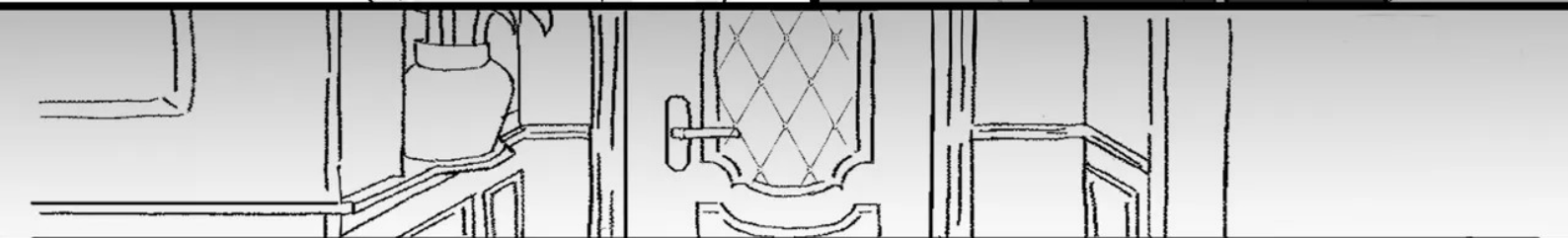
私はまだ
仕事がありますので

失礼させて
いただきます



...

シルヴァン...

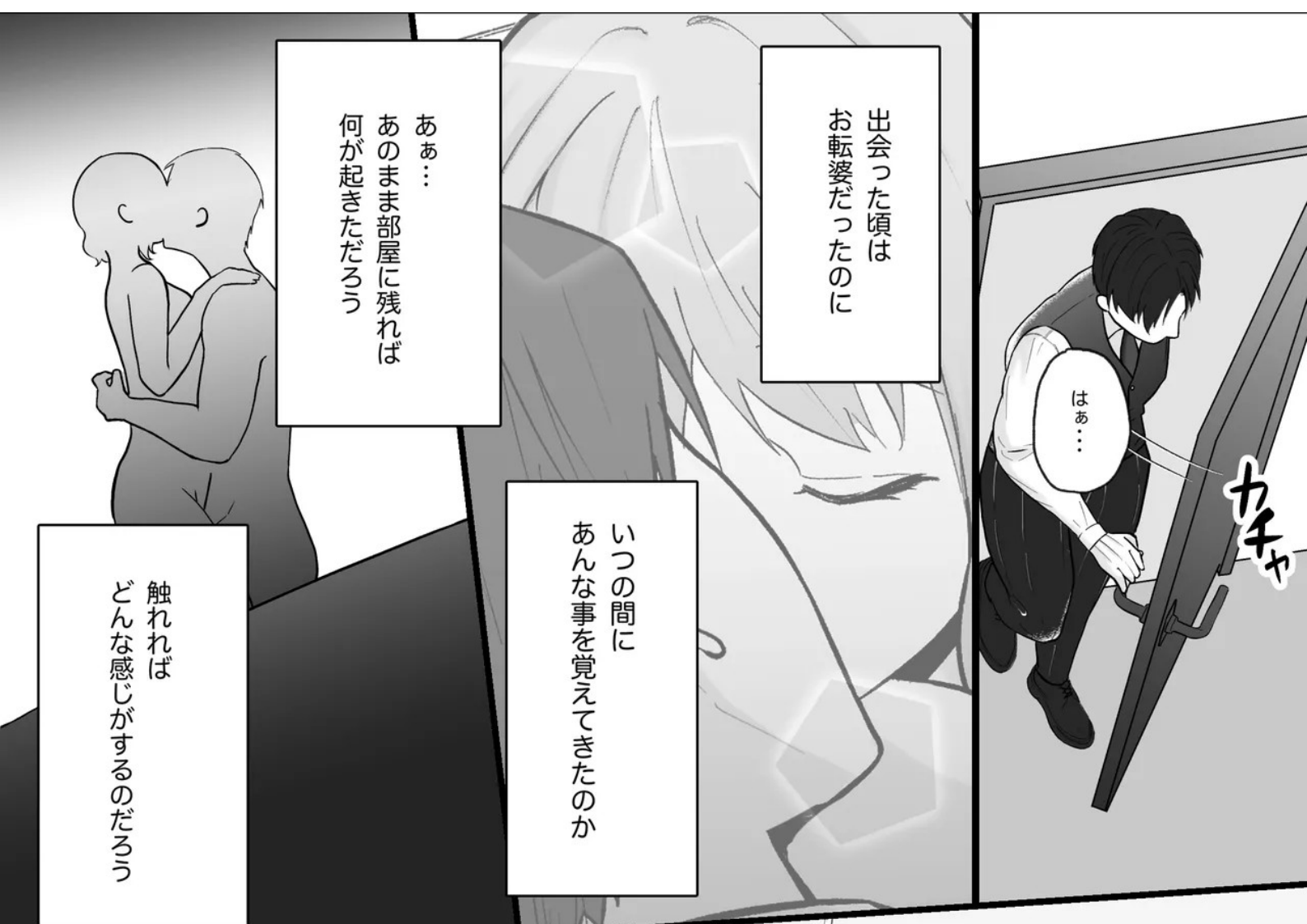


ふふ...っ

あんなに
焦っているところ
初めて見た

可愛かったなあ

あともう一押しね...



出会った頃は
お転婆だったのに

はあ…

カチャ

ああ…
あのまま部屋に残れば
何が起きただろう

いつの間に
あんな事を覚えてきたのか

触れれば
どんな感じがするのだろう

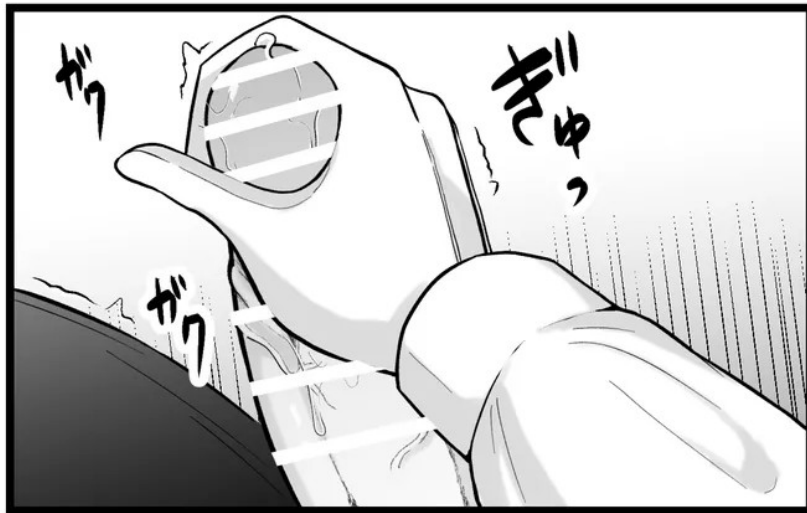


私はなんて
不埒な妄想を…

…っはあ

早く忘れなければ…

今日の出来事は
夢のようなもの



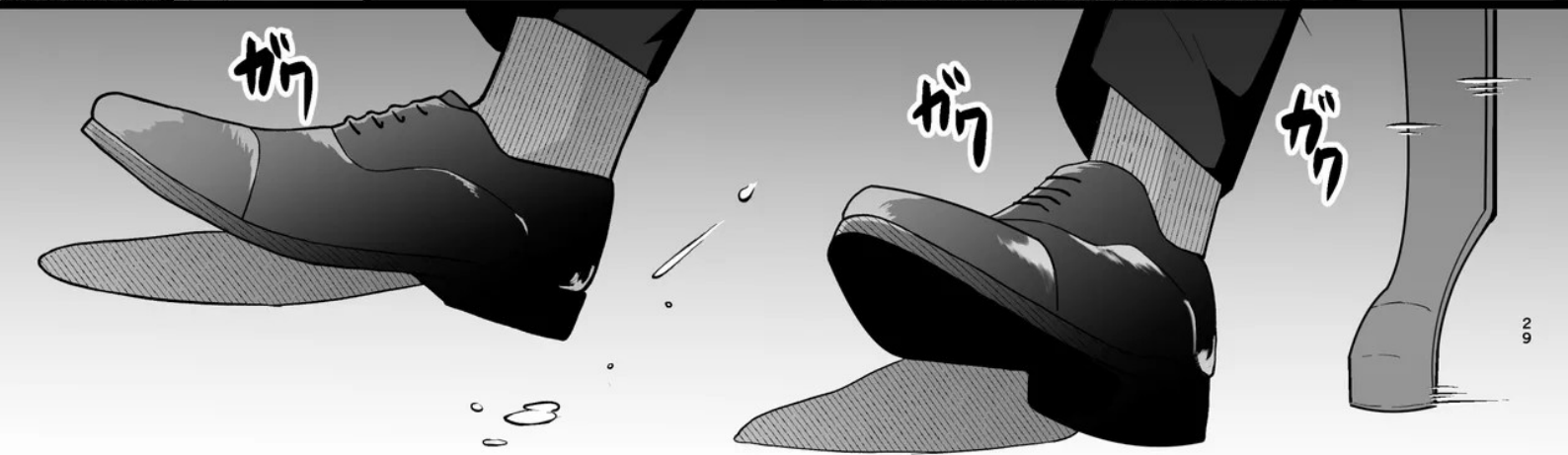
匂いだけ
なのに...

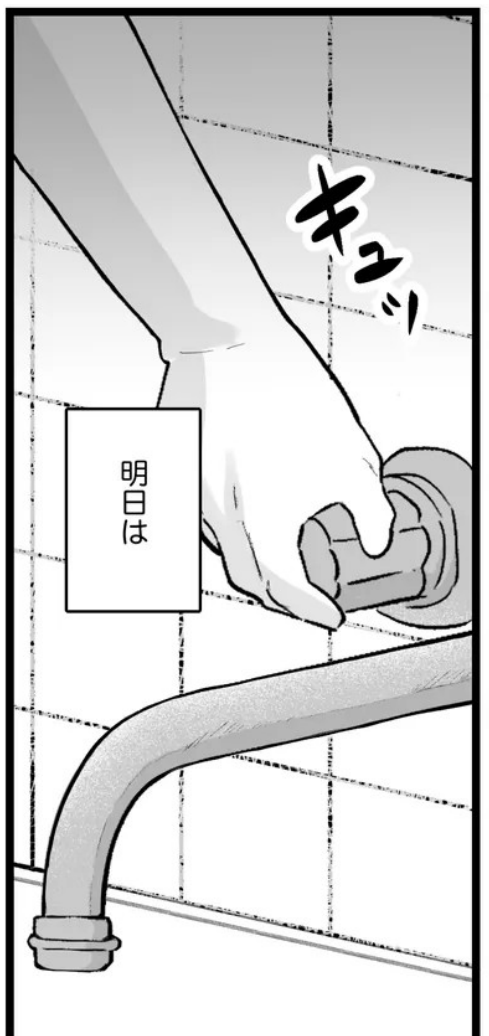


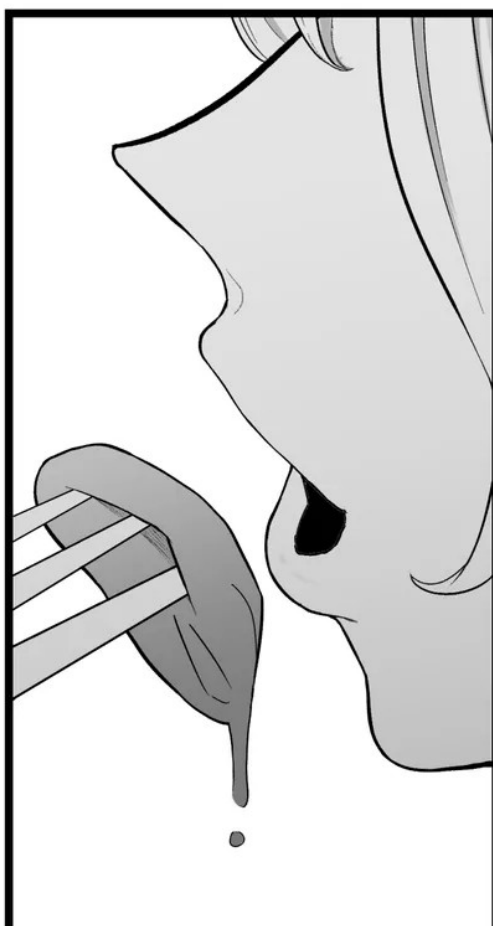
いつもより
余裕ないなッ...

お嬢様の香り...

あの柔らかさ...







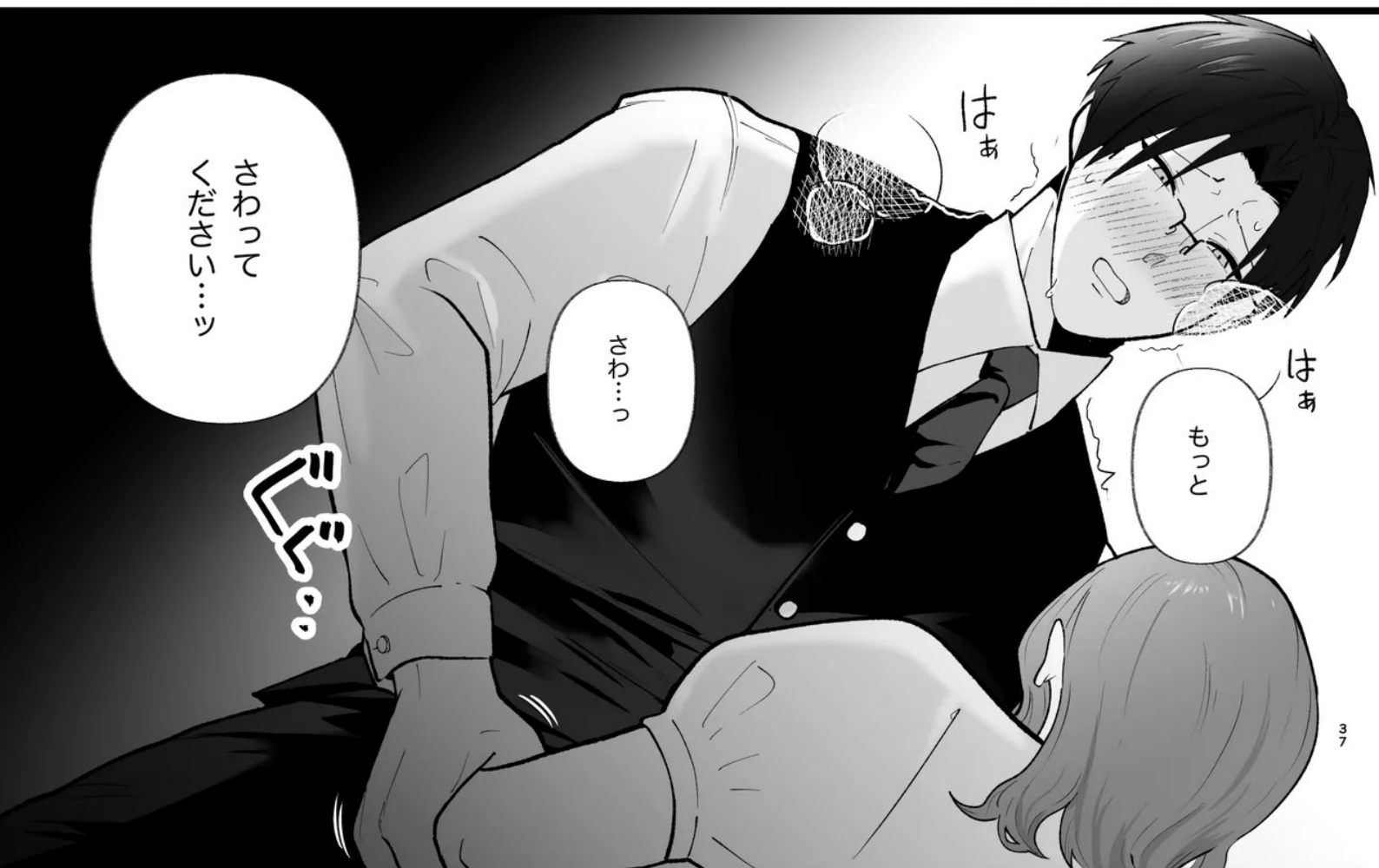


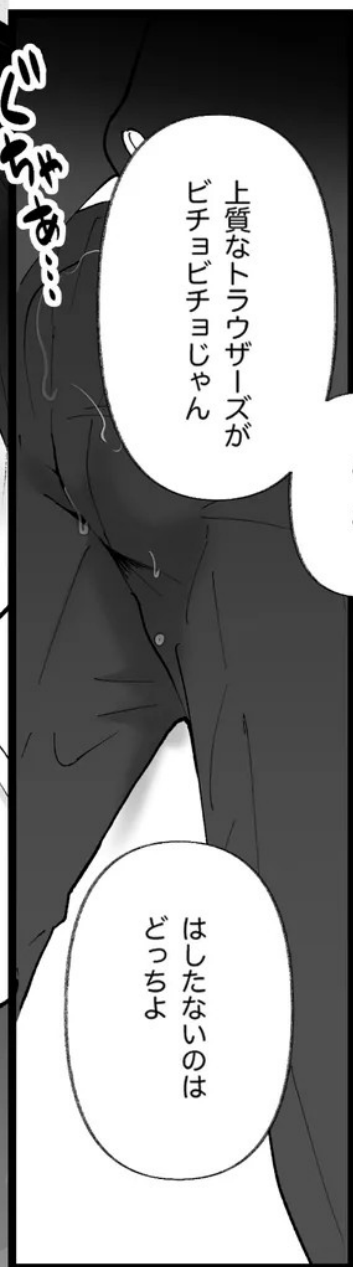






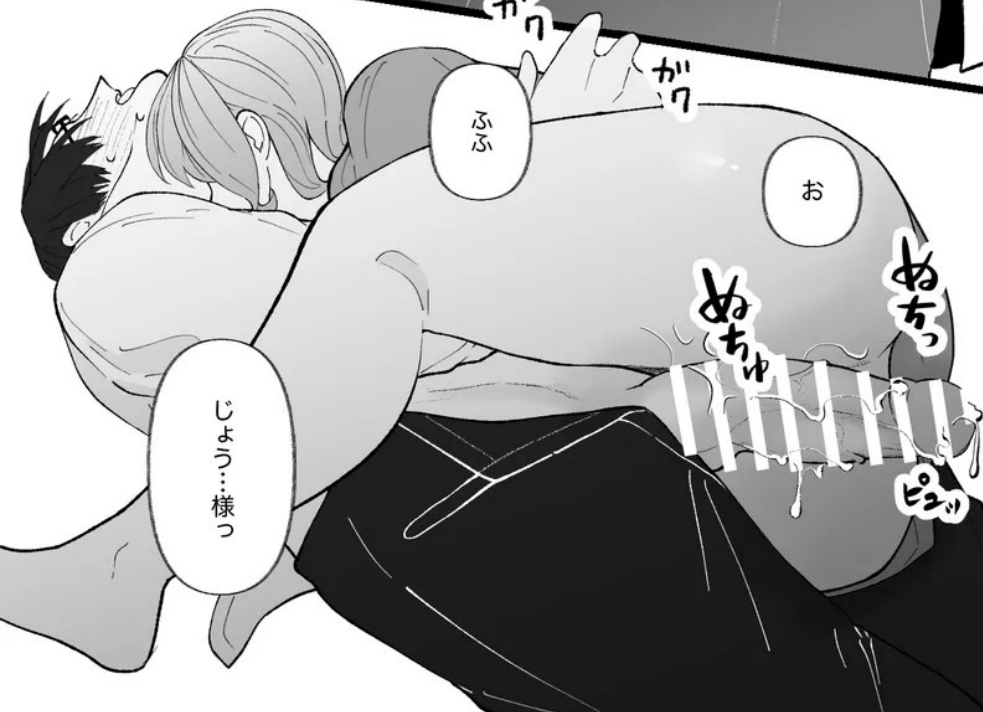
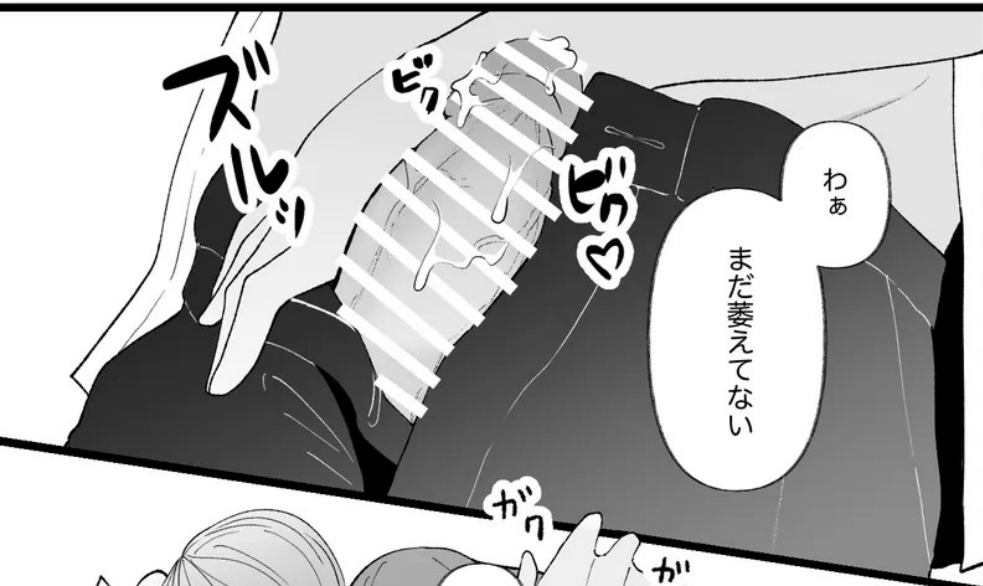




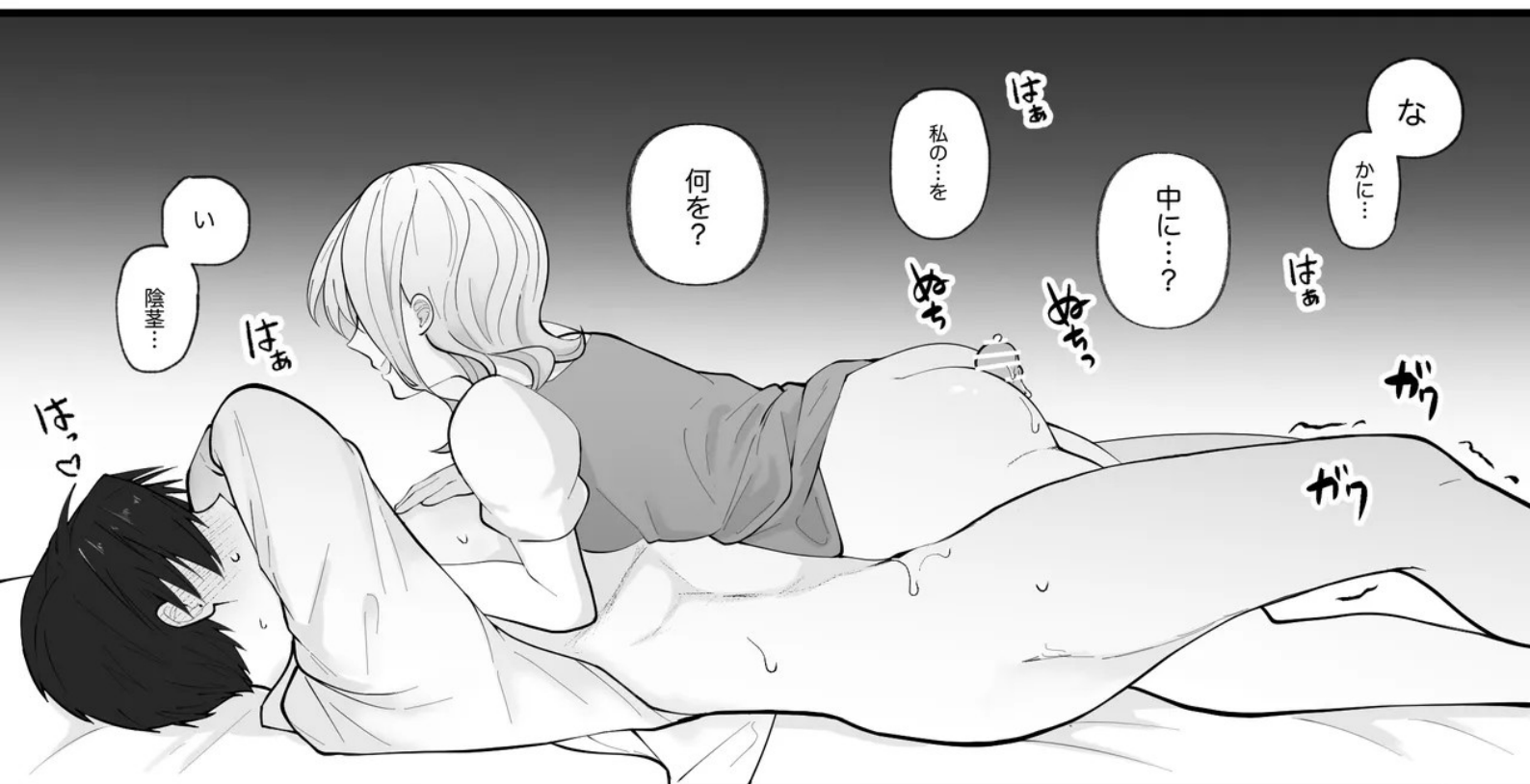
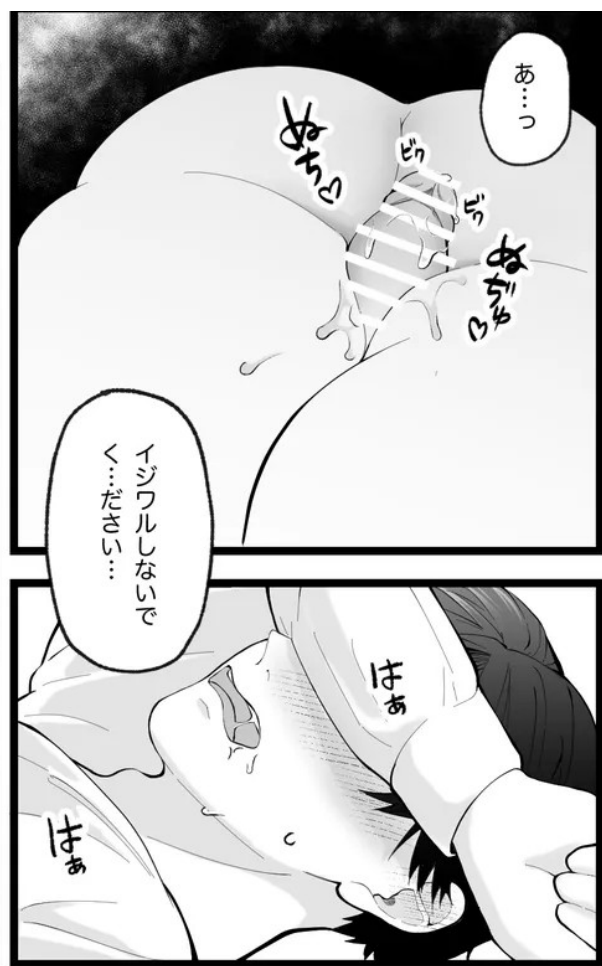


















30年間遊ばず
勉強と仕事だけの
人生だった

はぁ

はぁ…



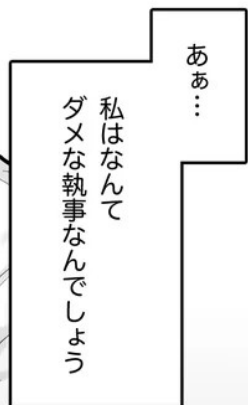
女性と触れ合うのが
こんなに気持ち良いなんて…

いや違う

お嬢様とだからこそ
こんなに昂るんだ

はぁ

はぁ



ああ…

私はなんて
ダメな執事なんだろう

ドクン

ちゅ

ちゅ

罪悪感でおかしくなる…

主人であるお嬢様と
淫らなことをしてるなんて

だけど

きもち…♡

おじや…



…たまらないっ

ドクン

ドクン



すみません…っ

執事としても
男としても

情けないです…っ



で…
ますっ

がまんできない



お嬢様より先に
イってしまった…



…もう

そういう事
言わないで

私は
男とか女とか

あ

すー



主人とか執事とか

そんな肩書き
どうでも良いの

ただ好きな人と
気持ちよく
なりたいただけ

…っ



シルヴァン…

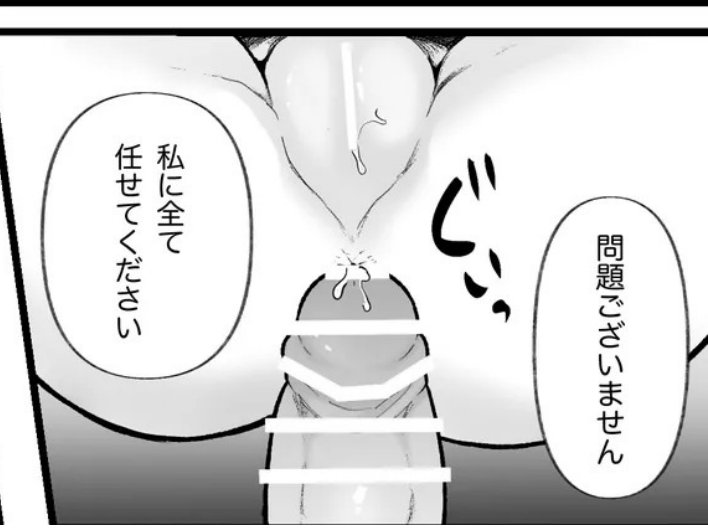
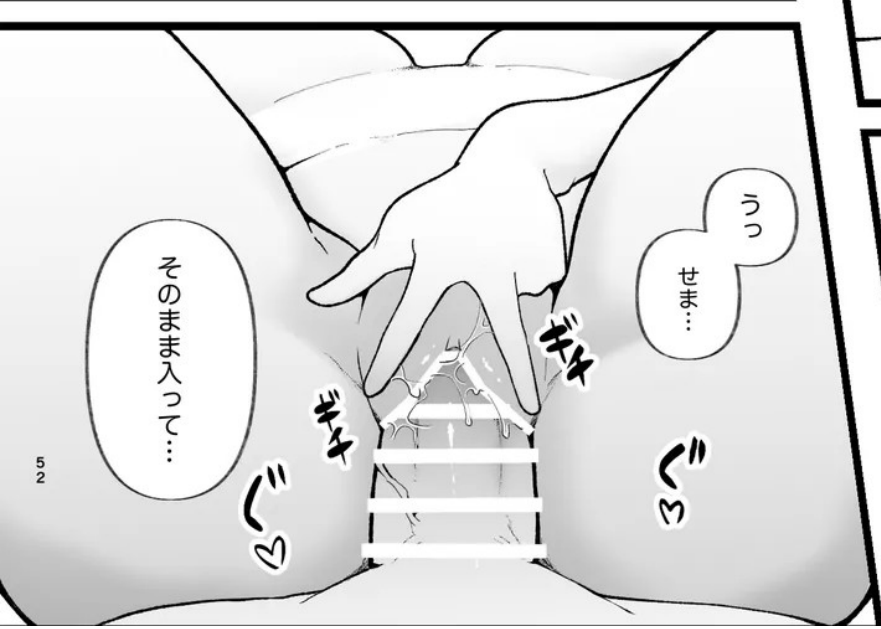
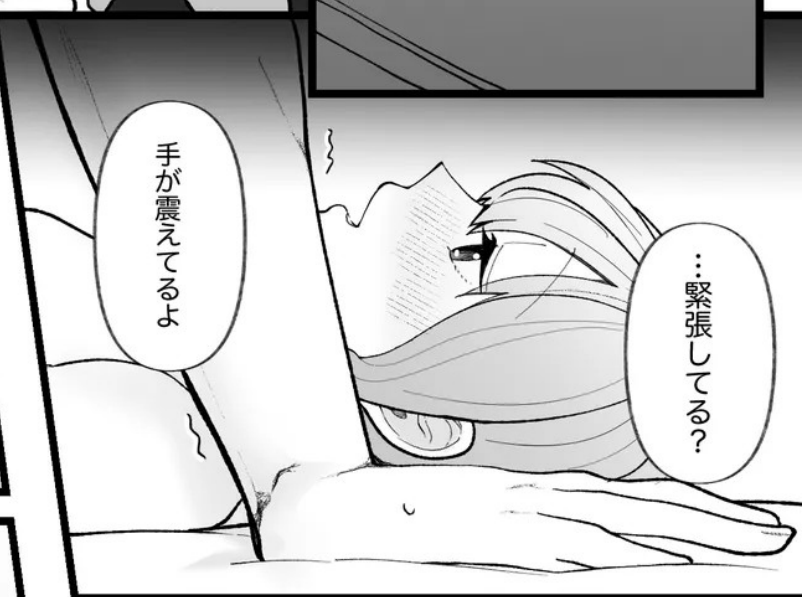
あなたは

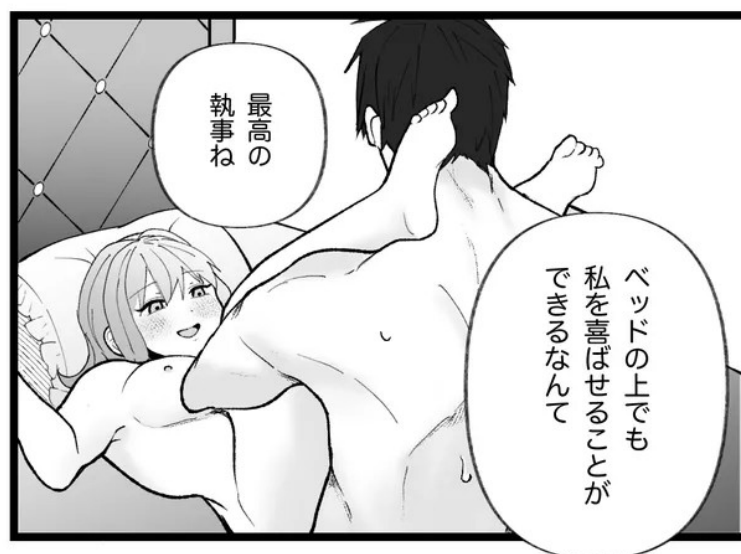
…はぁ

私を満足させて
くれたら
それで良いんだから

おじよ…さま

はぁ







お顔を
見せて

はぁ♡

キスが
したい…ッ

柔らかい

きもち…っ

110
キス

110
キス

キス

キス

キス

110
キス

も…っ

ぎゅわわん…♡

あ…っ

…っ

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

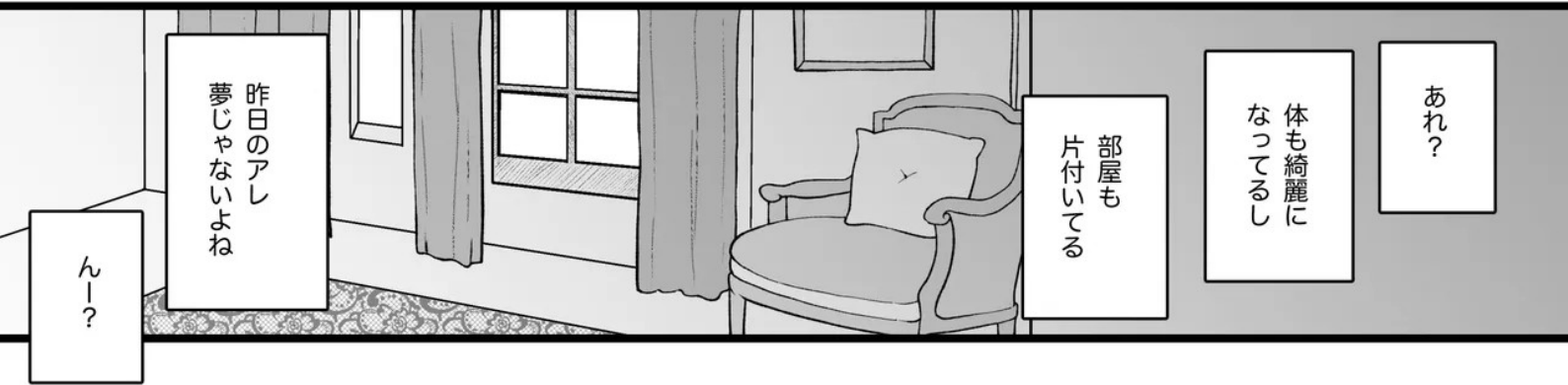
はぁ♡

はぁ♡





…朝だ



あれ？

体も綺麗に
なってるし

部屋も
片付いてる

昨日のアレ
夢じゃないよね

んー？



…おはようございます

お嬢様…



お嬢様は朝が弱いので
気持ちよく
起こしてあげよう...

クワッ...

しゅっ♡



ふわぁ...

何してんの？



はぁ...

はぁ...♡

上手くなったじゃん

はぁ♡

はぁ♡



お嬢様が
寝ている間に
情報収集しました

はぁ...♡

グマ...ッ



...そう

じゃあ
いくまで
舐めて



かしこまりました

どうぞ朝の微睡みに
体を委ねてくださいませ

はぁ...





きゅー

きゅー

ぐっ...

ちゅる、

ゴク...

...んっ

ビク

ビク

目...

覚めたあ...

とろ...



たまには
こんな目覚めも
悪くないかも

はあ……

では
朝の日課に
いたしましょうか



んーっ

スッキリしたあ

ふわあ



…?

それはナシ

ぎゅっ



ハァ

ちょ…っ

ギシ…

どこへ行かれるのです？

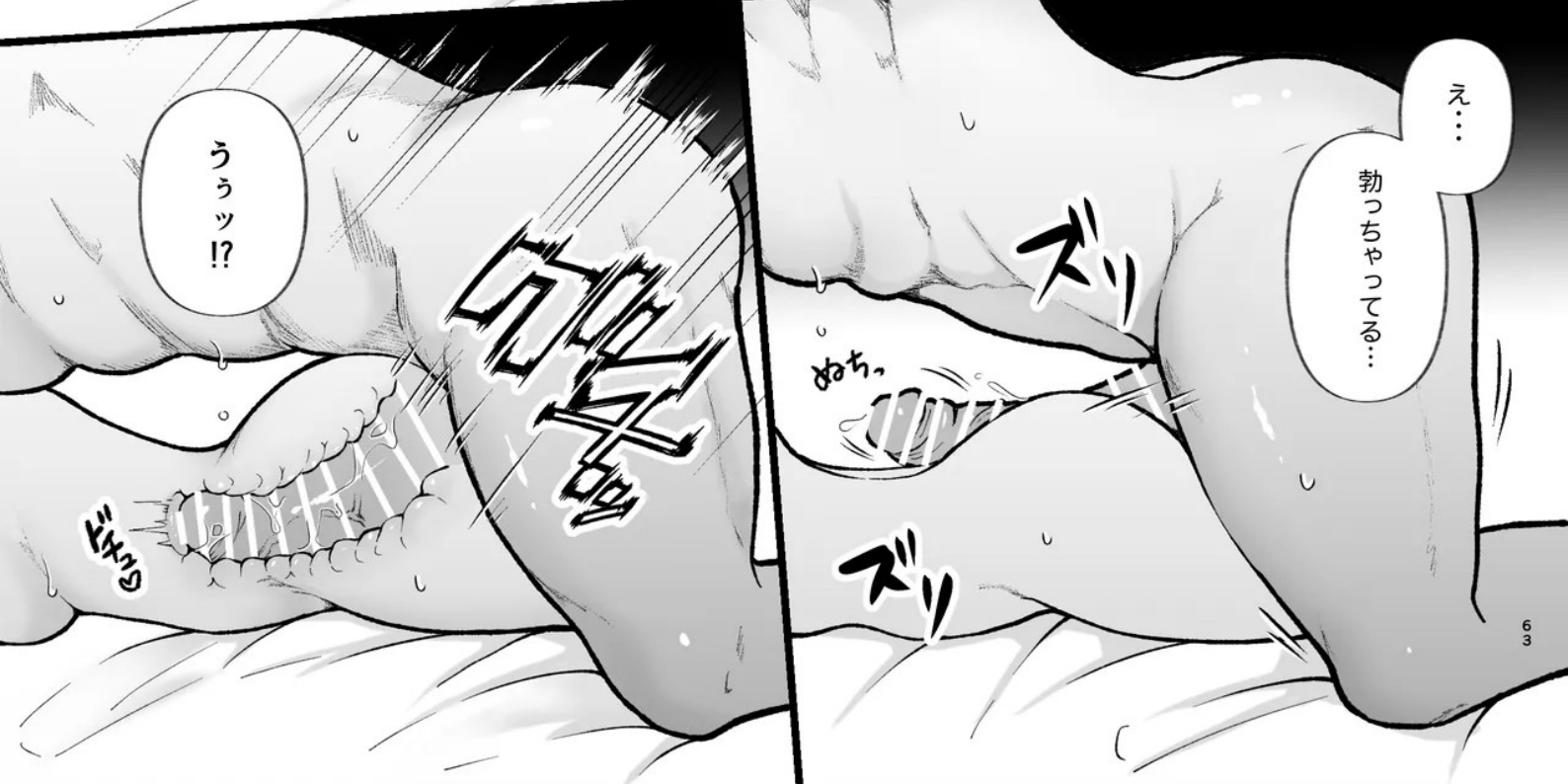
お待ちください



これから
執務が…



え…っ



そういえば...

昨日は
ダイエットすると
仰っていませんでしたか？

最近乗馬も
怠っていますし

今日は私が運動に
お付き合いいたします

あんなに
純情だったのに

味を占めたね...っ

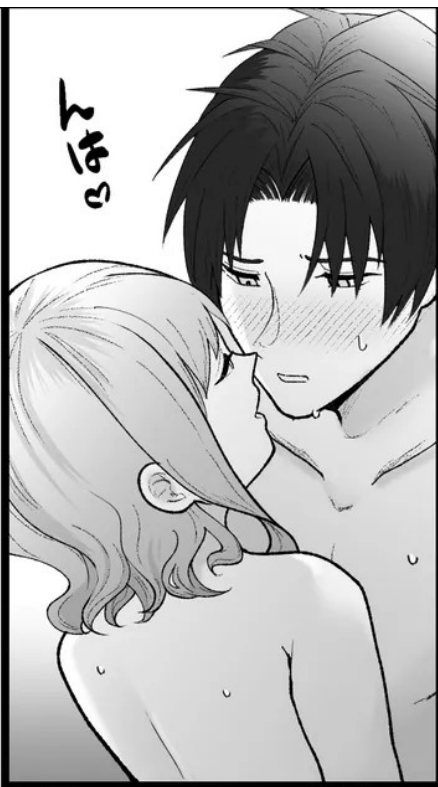
ほんと...っ
かわいいッ

















ぎゅっ♡

エリザ様...

心から
お慕いしております

あゝ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

す

おはよう
ございます
お嬢様

ん…っ
おはよ…

ねえ
まだ2人の時間だよ
名前
呼んでくれないの？

…ん
えっと…

恥ずかしいです…
昨日はその…
正気じゃなくて

雰囲気流されたって
そーゆこと？

やっと通じ合えた
思ったのに…

ぎゃー…



…ッ！
わ、私も！

大好き！
だから…
ちゃんと付き合いたい

よし！
今日の執務は
超特急で終わらせて
午後からデート！



えっ！

ダメ
もう決めた！



ほ…っ
本当につ

お慕いしております

エリザ様…



16時にカフェを出た後は
庭園に行きましょう
16時40分には
到着予定です...

あーもうっ

デートくらい
予定詰めないで
のんびりしたいんだけどっ

執務と変わんないじゃん
この堅物めっ